

第3版 S-M社会生活能力検査

(日本文化科学社)

<p>テストの標的</p>	<p>知的発達に遅れのある子どもの社会生活能力を評価する検査です。子どもの「日常生活場面での行動」が検査の対象となります。子どもをよく知っている「保護者」や「担任の先生」に回答していただく検査です。</p>						
<p>用紙・用具 画像ボタン</p>	<table> <tr> <td>手引</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>検査用紙(20名分)</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td>関連書籍 S-M社会生活能力検査の活用と事例</td> <td>2,500円</td> </tr> </table>	手引	5,000円	検査用紙(20名分)	10,000円	関連書籍 S-M社会生活能力検査の活用と事例	2,500円
手引	5,000円						
検査用紙(20名分)	10,000円						
関連書籍 S-M社会生活能力検査の活用と事例	2,500円						
<p>適用年齢</p>	<p>乳幼児～中学生</p>						
<p>実施時間</p>	<p>20分</p>						
<p>検査内容</p>	<p>社会生活能力を代表する130の生活行動項目で構成されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身辺自立：SH (Seif-Help) 衣服の着脱・食事・排泄などの身辺自立に関する生活能力。 2. 移動：L (Locomotion) 自分の行きたいところへ移動するための生活行動能力。 3. 作業：O (Occupation) 道具の扱いなどの作業遂行に関する生活能力。 4. 意志交換：C (Communication) ことばや文字などによるコミュニケーション能力。 5. 集団参加：S (Socialization) 社会生活への参加の具合を示す生活行動能力。 6. 自己統制：SD (Self-Direction) わがままを抑え、自己の行動を責任を持って目的に方向づける能力。 						